

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ネダプラチン + フルオロウラシル (CGRT)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	食道がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Es-015
登録日・更新日	2019年6月25日
削除日	
出典	N Engl J Med. 1992;326:1593-1598.
入力者	田中 慎

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ネダプラチン (アクブラ静注用)	10 mg, 50 mg, 100 mg.	75 mg/m ²	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV □CVポート □側管 □その他()	2時間	Day 1
	生理食塩液	500 mL				
No.2	フルオロウラシル (フルオロウラシル注射液)	250 mg, 1000 mg.	1000 mg/m ²	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV □CVポート □側管 □その他()	24時間	Day 1-4
	生理食塩液	500 mL				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【延期基準】 WBC < 3,000/μL ANC < 1,500/μL Plt < 7.5万/μL T-Bil > 2.0mg/dL SCr > 1.2mg/dL その他、Grade2(CTCAEv5.0)以上の非血液毒生が発現した場合</p> <p>【減量基準】 Grade3(CTCAEv5.0)以上の有害事象が現れた場合は両薬剤とも25~50%減量</p>
前投薬	5-HT3受容体拮抗薬 + デキサメタゾンNa
その他の注意事項	<p>原則、ハイドレーションとして生理食塩液1Lを2時間かけて投与する</p> <p>NDP/5-FUの有効性を直接示した文献(Keiichi J., et al. BMC Cancer. 2012;12:542.)では NDP 70 mg/m², 5-FU 500 mg/m²であるが、実臨床では上記文献(RTOG8501)における CDDPの量をNDPにそのまま外挿して用いている。</p>

記入者	田中 慎
確認者	池 成基